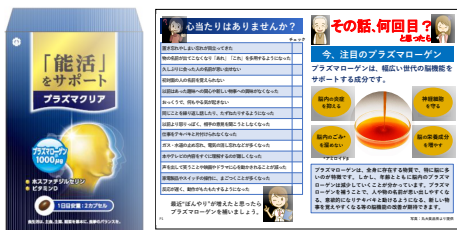


※ 8月上旬にお送りした「大草FAX通信」の続きになりますので、一緒にご覧ください。



両面展示可能なWフェイス



小分袋 A6二つ折りリーフレット

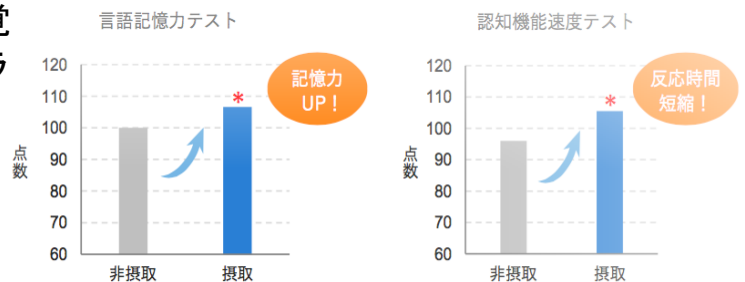
新発売「プラズマクリア」の主成分「プラズマローゲン」とは？

「プラズマローゲン」は、細胞膜の主成分であるリン脂質の一種で、脳や心臓、骨格筋など、酸素をたくさん消費する部位に多く存在しています。「プラズマクリア」は鶏ムネ肉から抽出した「プラズマローゲンエキス（丸大食品(株)製）」を使用しています。

「プラズマローゲン」の量は加齢に伴って減少していきます。また、年齢との関連だけでなく、アルツハイマー型認知症患者の脳でも「プラズマローゲン」が減少していることが報告され、以来、認知機能に関わる成分として研究が進められてきました。

脳内の「プラズマローゲン」が増加すると、脳由来神経栄養因子「BDNF」や情報伝達に関わる「樹状突起スパイン」が増加・活性化します。よって脳神経細胞間でアセチルコリン等の情報伝達物質のやり取りがスムーズになり、認知機能が改善されると言われています。

60歳以上の健常な男女で、もの忘れの自覚がある人を対象に行った試験では、「プラズマローゲン」を3ヶ月摂取したあと、認知機能テストをしました。その結果、特に言語記憶力と認知機能速度が非摂取群と比較して、有意に向上しました。



出典：Kawamura J. et al. Jpn Pharmacol Ther., 47,5(2019)

「他社製品との売り分けポイント」

市場にはイチョウ葉の製品があり、「プラズマクリア（プラズマローゲン）」にもイチョウ葉にも認知機能を向上させるはたらきがありますが、その仕組みが大きく異なります。「プラズマローゲン」が主に脳の神経細胞にアプローチして学習記憶を向上させるのに対し、イチョウ葉は脳の血流を改善することで神経活動を活発にします。

売り分けのポイントは、「プラズマクリア」は理解力・判断力が落ちてきたことによって「意欲の低下」を感じている方や、抗血液凝固剤等を服用している方へ。

イチョウ葉は日常生活において「記憶力の低下を感じている方」に向けておすすめすると良いと思います。併用する事で相乗効果も期待できます。